

財務情報公開と説明責任の進化

2004年12月6日(月)

時間	講義項目
10:00 ~ 11:30	<p>社会評価と財務情報開示 (学)和洋学園 齋藤 勉</p> <p>1. 財務情報開示の効果を探る (1)誰がステークホルダーなのか (2)評価できる開示なのか</p> <p>2. 学校法人の財政を語る会計とは (1)学校法人経営の特殊性 (2)学校法人運営の資金源泉の今後 (3)企業会計導入の影響と学校法人の崩壊</p> <p>3. 今後の展開を予想する (1)会計基準の改善の余地と可能性 (2)国立大学法人の情報開示と説明に期待する (3)いわゆる社会的評価とアカウンタビリティの実践 質疑応答</p>
11:40 ~ 13:00	<p>これからの会計・財務システムと情報公開 ~ソフト・システムとしての進化/説明責任からの社会評価~ (株)エデュース 松本雄一郎</p> <p>1. 財務情報開示と財務会計 (1)財務情報開示の目的と対象 (2)財務情報開示の手法 (3)学校法人会計基準の役割と限界</p> <p>2. 財務情報開示と管理会計 (1)私立学校の財政構造とコスト管理 (2)経営責任と受託財産管理責任 (3)財務情報開示における管理会計の役割</p> <p>3. 財務情報開示のツールとしての会計システム (1)会計システムに求められる機能 (2)セグメント会計情報 (3)事業計画別(業務別)予算管理 (4)目的別・機能別会計情報開示 (5)理解を得るための情報開示への取組み 質疑応答</p>
昼 食	
14:00 ~ 15:20	<p>〔ケース・スタディ〕財務情報公開の今、そしてこれから ~各大学の先進的取り組み/進化の方向と展開~ (学)日本大学 渡邊 徹</p> <p>1. 情報公開の考え方 2. 開示すべき情報 3. 各大学の取組み 4. 今後の方向性 質疑応答</p>
15:30 ~ 17:00	<p>学校法人会計の改革方向と求められる財務情報 ~解説・注記, 事業報告書の作成の留意点~ 公認会計士 清水 至</p> <p>1. 財務情報とステークホルダー (1)財務情報の情報開示の制度化 (2)私立大学を取巻くステークホルダー (3)ステークホルダーからの財務情報への期待</p> <p>2. 私立大学の社会的責任と説明責任 (1)私立大学で高まる社会的責任(USR) (2)説明責任の必要性 (3)説明責任を果たす手段とは</p> <p>3. 財務情報の注記 (1)注記についての変更点 (2)なぜ注記の充実が求められるか (3)あるべき注記の内容</p> <p>4. 事業報告書の作成 (1)事業報告書の項目 (2)なぜ事業報告書が求められるのか (3)あるべき事業報告書</p> <p>5. 学校法人会計を巡る動き (1)国立大学法人会計と情報公開の方向性 (2)学校法人会計の課題 (3)学校法人会計の方向性 質疑応答</p>